

# フルオラス科学研究会第4回シンポジウムプログラム

2011年10月7日（金）大阪府立大学（堺市中区学園町1-1）

10:00～10:05 会長挨拶

10:05～11:05 特別講演1 座長 伊藤彰近  
「ソルカンを溶媒に用いる有機合成反応の開発」  
(名工大・院工) 柴田哲男

11:05～11:45 口頭発表 座長 矢島知子

O-1 フルオラス法による糖鎖合成法の開発 ～フルオラス性副生成物の効率的な除去を目指して～

(野口研・糖鎖有機) ○後藤浩太郎・男谷義雄・水野真盛

O-2 フルオラス誘導體化-LC-MS/MS 法によるシアリルオリゴ糖の高感度かつ高選択的分析

(福岡大・薬) ○坂口洋平・巴山 忠・吉田秀幸・糸山美紀・能田 均・山口政俊

11:45～13:10 昼食

13:10～14:10 特別講演2 座長 根東義則  
「Fluorous mixture synthesis approaches to natural product stereoisomer libraries」  
(University of Pittsburgh) Dennis P Curran

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20 特別講演3 座長 池田 潔  
「フルオラストグ法を用いた生物活性天然物の合成研究」  
(新潟薬大・応用生命) 中村 豊

15:20～17:00 ポスターセッション

17:00～17:10 研究会総会  
(1) 来年度シンポジウム開催地について  
(2) その他

17:30～ 情報交換会（学術交流会館）

ポスター発表

- P-1  $\beta$ -カルボリン誘導体の固相合成法の確立と新規フルオラス固相合成への応用  
(東理大・理工) 小中原猛雄・○熊倉忠司・鈴木啓子・熊谷宗訓・池田玲子・坂井教郎
- P-2 フルオラス-チオウレア触媒を用いた不斉マイケル付加反応  
(岐阜薬大) ○三浦 剛・西田承平・益田 晃・多田教浩・伊藤彰近
- P-3 フェイズ・バニシング法によるブロモ糖合成  
(野口研・糖鎖有機) ○戸治野真美・水野真盛
- P-4 Fluorous Scavenging Derivatization による高極性有機酸の蛍光誘導体化-超高速 LC 分析  
(静岡県立大・薬<sup>1</sup>, 福岡大・薬<sup>2</sup>) ○轟木堅一郎<sup>1</sup>・関 俊哲<sup>1</sup>・中島 学<sup>2</sup>・豊岡利正<sup>1</sup>
- P-5 糖修飾フルオラスチオールの合成  
(東海大・工<sup>1</sup>, 東海大・糖鎖研<sup>2</sup>) ○藤田遥一<sup>1</sup>・稲津敏行<sup>1,2</sup>
- P-6 フルオラス金属抽出剤の開発とその応用  
(東海大・工<sup>1</sup>, 東海大・糖鎖研<sup>2</sup>) ○伊藤 慎<sup>1</sup>・稲津敏行<sup>1,2</sup>
- P-7 フルオロアルキル鎖を持つ糖アミノ酸の合成  
(東大・生研<sup>1</sup>, 野口研<sup>2</sup>) ○小市健太<sup>1</sup>・粕谷マリアカルメリタ<sup>1</sup>・畑中研一<sup>1</sup>・水野真盛<sup>2</sup>
- P-8 フルオラスデンドリマーの合成と機能  
(東大・生研) ○宿谷賢太・粕谷マリアカルメリタ・畑中研一
- P-9 フルオラス蛍光誘導体化による 5-ヒドロキシインドール類の高選択的分析  
(福岡大・薬) 池永 純・○吉田秀幸・坂口洋平・糸山美紀・巴山 忠・能田 均・山口政俊
- P-10 フルオラス及び蛍光誘導体化を利用したポリアミン類の選択的 LC 分析  
(福岡大・薬) 後藤しおり・○巴山 忠・糸山美紀・吉田秀幸・能田 均・山口政俊
- P-11 ソルカン中での鈴木宮浦クロスカップリング反応の開発  
(名工大・院工) ○東 綾香・楠田旭弘・徐 修華・徳永恵津子・柴田哲男

- P-12 ソルカン 365mfc を溶媒に用いる環境調和型エナンチオ選択的トリフルオロメチル化反応の開発  
(名工大・院工) ○大楠 賢・河合洋幸・徳永恵津子・柴田哲男
- P-13 フルオラス溶媒を用いたマイクロフロー系によるオレフィンの迅速臭素化法  
(阪府大・院理) ○時實昌史・福山高英・Md. Taifur Rahman・福田雄希・柳 日馨
- P-14 フッ化物イオンを導入したフッ化ピッチを用いる交差アルドール縮合  
(阪府大・院工<sup>1</sup>・大阪ガスケミカル(株)<sup>2</sup>) ○井ノ上智史<sup>1</sup>・野元昭宏<sup>1</sup>・斉藤道雄<sup>2</sup>・小川昭弥<sup>1</sup>
- P-15 ジホスフィンとペルフルオロアルキルヨージドの光誘起ラジカル反応によるフルオラスホスフィンの合成  
(阪府大・院工) ○南田賢明・川口真一・小川昭弥
- P-16 新規ドラム型フルオラススズクラスターの合成  
(岡山理大・工) 折田明浩・○小野達彦・徳永隆宏・大寺純蔵
- P-17 フルオラス界面を反応場とするアミド化反応の検討  
(金沢大・院薬) ○山田耕平・浅尾亮平・国嶋崇隆
- P-18 フルオラスベンゾキノン類の機能性電子材料への利用  
(阪府大・院理) ○横地崇人・前川卓彦・松原 浩